

聖光塾 特別編@東北大学東京オフィスを開催しました（2025/7/21）

テーマ：高大連携，校友会

会場：東北大学東京オフィス

URL：<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/tokyo/index.html>

2025年7月21日（月・祝）に東北大学東京オフィスにおいて，聖光塾（＊1）の特別編として聖光学院中学校高等学校，湘南白百合学園中学・高等学校の約40名，引率の先生（沖田耕一先生，水尾純子先生，大塚英人先生）の参加をいただき，実施しました。テーマは「巨大災害の時代に生きる」であり，副題として，命と地域を守るには，としました。講義やグループディスカッションを通じて，東日本大震災，能登半島地震などの経験や教訓を伝え，将来の社会のあり方，人間（個人）のあり方を考えていただき，将来の社会への提言を出していただくことを目的としました。主な内容は，学際研究である災害科学の要素にある，自然科学・工学，災害医学，災害歴史学，震災伝承・防災教育としました。

はじめに，本講座での狙いとグループワークのテーマ設定をし，今村文彦教授（津波工学研究分野）が，東日本大震災等を振り返る ―いまの自然災害の傾向と実態，災害科学の役割と期待，続いて，佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）が，被災者の生命と健康を守る ―災害医学の取組，さらに，川内淳史准教授（上廣防災学寄附研究部門）が，歴史の中の災害 ―歴史から得られる未来への知見，最後に，新家杏奈助教（イオン防災環境都市創生共同研究部門，防災社会推進分野）が，東日本大震災を踏まえた防災教育・伝承について，講義を行いました。講義を通じて，東日本大震災での実態を知っていただいた中で，いままでの知識や経験とは違う実際の驚き，メカニズムや原因への理解，さまざまな状況への納得，今後の防災への気づき，を得ていただいたと思います。

引き続き，4つのテーマ（自然科学，災害医学，災害歴史学，伝承・防災学習）に対して，8チームに分かれ，共通および個別テーマ（3つの問い）に対してディスカッションをした後，グループ毎に議論の成果を発表していただきました。終わりに，提言として，必要な取組例や覚えやすいキャッチフレーズ，スローガンなども披露いただきました。

＊1 聖光塾とは

聖光学院中学校高等学校が実施する特色ある教育プログラム。授業の補習塾というものではなく，休日や長期休み期間などを使い，体験を通して教養を身につけることをねらいとした，豊かな人間性を育む講座。

（参考）<https://www.seiko.ac.jp/about/education>

文責：今村文彦（津波工学研究分野）
（次頁へつづく）



冒頭に特別編のイントロと東日本大震災についての講義



グループワークでの説明



各グループの成果発表



終了後の集合写真